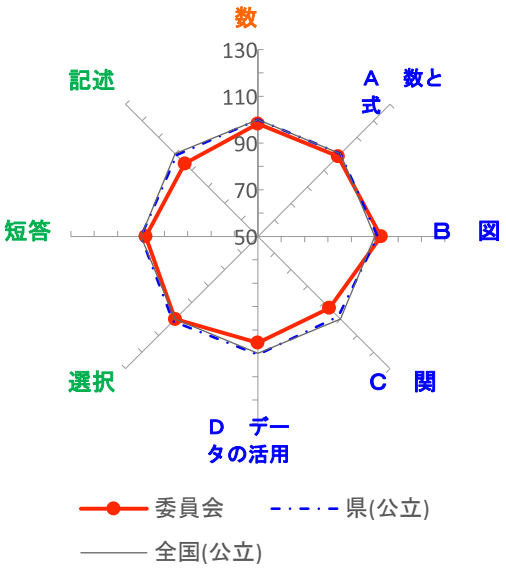
＜中学校数学＞



数学
正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別にみると、「図形」における平均正答率は全国を上回っている。

数と式	◇問題解決の場面において、正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 ◆数量や数量の関係を捉え、文字を用いた式で表したり処理したりすること課題がある。
図形	◇図形の性質や関係を考察する場面で、辺の長さや角の大きさなどの数量に着目し、それらの関係を捉え、筋道を立てて考えることができる。 ◇図形の合同について、筋道を立てて考え、証明することができる。 ◆図形の性質を考察する場面において、対象となる角を的確に捉えることに課題がある。
関数	◆反比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、x の値に対応する y の値を求めることに課題がある。 ◆事象の中にある関数関係を見いだし考察する場面において、数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
データの活用	◇確率を用いて不確定な事象を捉え考察する場面で、同様に確からしいことに着目し、起こり得る全ての場合の数とある事柄が起こる場合の数を求め、それらの値を基にして確率を求めることができる。 ◆不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において、情報を分類したり整理したりすることに課題がある。

授業改善のポイント

◇→概ね身についている。
◆→課題がある。

●図形の性質について考察する場面において、考察の対象となる辺や角の関係などを的確に捉えることができるように指導する。
●グラフ上の点の座標を表と関連付けて読み取ったり、表やグラフを具体的な事象と対応させ、具体的な事象では何を表しているのかを捉えたりする活動を取り入れ、問題解決に必要な情報を適切に読み取ることができるように指導する。
●二つの集団のデータの分布の傾向を比較してその特徴を捉え、数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れる。